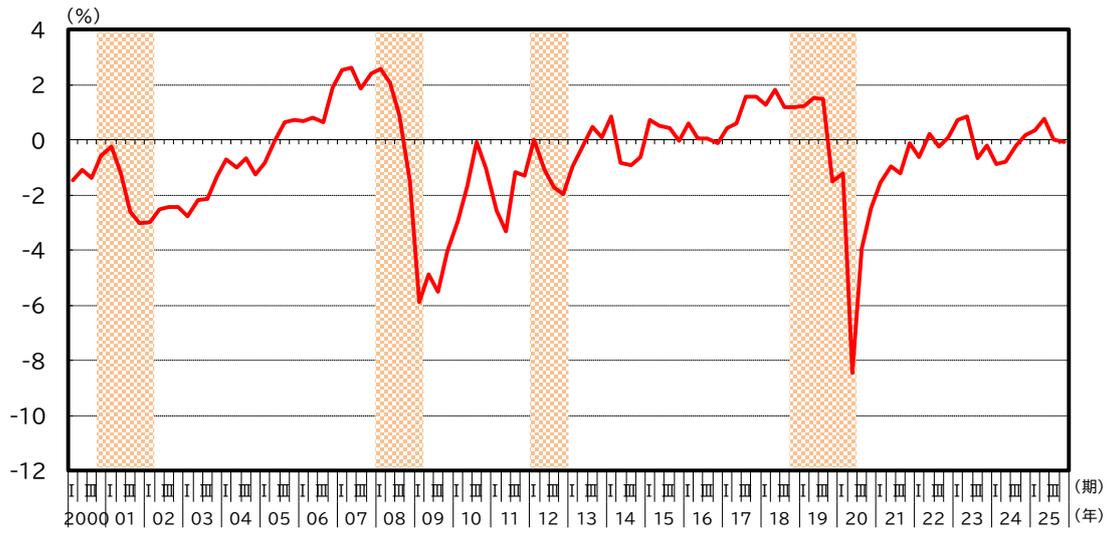


2025年10-12月期GDP1次速報後のGDPギャップの推計結果について

1. 2025年10-12月期のGDP1次速報を反映したGDPギャップ(注)の推計結果は▲0.1%となった(図1~2、表1~2)。

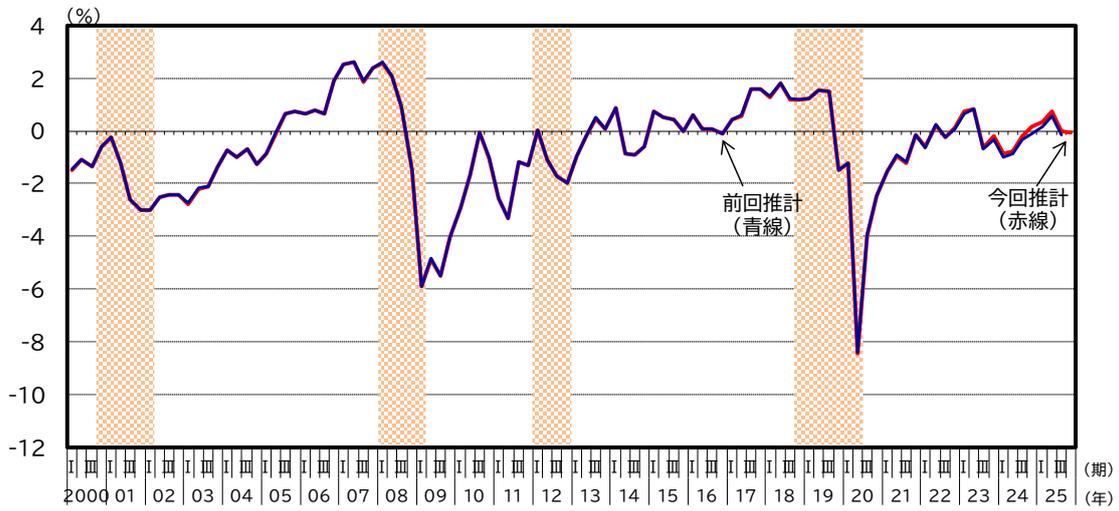
(注) GDPギャップ=(実際のGDP-潜在GDP)/潜在GDP。この推計にあたっては、潜在GDPを「経済の過去のトレンドからみて平均的な水準で生産要素を投入した時に実現可能なGDP」と定義している。GDPギャップの大きさについては、前提となるデータや推計方法によって結果が大きく異なるため、相当の幅をもってみる必要がある。

図1 GDPギャップの推移



(備考)  
 1. 内閣府「国民経済計算」、経済産業省「鉱工業指数」等により作成。  
 2. シャドローは景気後退期。

図2 GDPギャップの新旧比較



(備考)  
 1. 内閣府「国民経済計算」、経済産業省「鉱工業指数」等により作成。  
 2. シャドローは景気後退期。

表1 GDPギャップの推移

	2018				2019				2020				2021			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
25年10-12月期1次QE後	1.3	1.8	1.2	1.2	1.2	1.5	1.5	▲1.5	▲1.2	▲8.4	▲4.0	▲2.5	▲1.5	▲0.9	▲1.2	▲0.1
25年7-9月期2次QE後	1.3	1.8	1.2	1.2	1.2	1.5	1.5	▲1.5	▲1.2	▲8.4	▲3.9	▲2.4	▲1.5	▲0.9	▲1.2	▲0.1

	2022				2023				2024				2025			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
25年10-12月期1次QE後	▲0.6	0.2	▲0.2	0.1	0.7	0.8	▲0.6	▲0.2	▲0.9	▲0.8	▲0.2	0.2	0.3	0.8	▲0.0	▲0.1
25年7-9月期2次QE後	▲0.6	0.2	▲0.2	0.1	0.7	0.8	▲0.7	▲0.3	▲1.0	▲0.9	▲0.3	▲0.1	0.2	0.6	▲0.2	

表2 GDPギャップの推移(暦年)

	2010	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
GDPギャップ	▲1.4	▲2.1	▲1.2	▲0.1	▲0.4	0.4	0.2	1.0	1.4	0.7	▲4.0	▲1.0	▲0.1	0.2	▲0.4	0.3

担当: 参事官(経済財政分析-総括担当)付 酒井 遼、並木 智春

直通: 03-6257-1572